

---

# 僕と戯言の730日

すぴか

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

僕と戯言の730日

### 【Nコード】

N7531X

### 【作者名】

すぴか

### 【あらすじ】

僕がそれに出会ったのは中学2年生の時。

本当に必要な言葉が紡ぎだせなくて、

泣いた日々に暗転をもたらしたそれに、感謝すべきなのだろうか。

人生に無気力、崩壊寸前の過程で育った主人公の人生暗転物語。ほぼノンフィクション。

家族とは言葉とはなにか。

コミュニケーション能力が不足しているこの時代にできる戯言、

## 1年目の一日？

ある日の朝8時。

完璧に学校は遅刻だが気にしない。誰も怒る人なんていないからね。下の階で騒ぐ声が聞こえる。なるだけ無視を心がけるが静かな朝には不向きな雑音になっている。

仕方がないから僕はパソコンをつけ自分の世界にこもる。

ケータイが揺れた。開くとメールがきていた。

「今日、大事な事があるから午後からでもいいからきて」

親友とも呼べる学級委員からのメールだった。理由もわからず行くのは自分にとっていやな事である。

それはまあ、わがままの部類ではあるんだろうが、何せ急に呼び出され、朝から雑音だらけだというのに、いらだちを覚えない人のほうが珍しいはずだ。

「なんで？」

無機質なメールを返す。よほど暇なのか、返信は1分も立たずして帰ってきた。

「職場体験の内容決めるのと転校生がきたんだよ！」

喜んでいるような絵文字をつけてやってきた。

まず悩みを1つずつ解決しよう。

一つ目…職場体験・・・これは僕が元々行きたかったやつ。気になってたんだよね。やってみたくなって。将来なりたいものなんてないんだけど、音楽の関係につけたらって思って。ギターと歌とダンスはできるから。まあ、自慢に聞こえるかもしれないね。

二つ目…転校生・・・こんな時期に感じてしまう。なにせ今は2年の夏休みまじか。っていうか1週間後が夏休みのはずだ。

まあ、変わり者がいるのだと流してしまおう。それがいい。

「転校生って女？」

そこが重要である。ってまあ恋愛したいとは思わないが一応聞いておくのがルールだと思う。

「女と男。双子らしいぞ。容姿端麗だ。」

すこし興味を引いた。午後から行こうと決意が固まった。

しかしまだ9時半。昼までは3時間ある。どうするか・・・。

いつの間にか下の階の雑音が静かになっていた。窓を開けていたため心地の良い風が吹いてきてベットニ寝転んでいると眠気を誘われた。うとうとと、目を閉じたその時

階段を上ってくる音。怒りを込めたようなずっしりとした足音が聞こえる。聴きなれたが恐怖に委縮してしまう。「あいつがきた」と心の中の自分に告げた。

ガチャとドアノブがゆっくりまわされた。心拍数が異常事態に警告を促すように騒ぎ立てている。静かな空気をはじけさせる足音と雑音にしかない心臓が空気を張り詰めさせる。

「遊翔<sup>ゆうしょう</sup>」

静かに名前が呼ばれる。その声は無機質なつくりで独特の低い声を醸し出している。

息を、心拍数を、声を、恐怖を、押し殺すことしかできない。ばれたらおわりだ。

隙間から見えるそれは実に不思議なものだ。

目の焦点があっついていない黒の瞳。まばらに茶色く長い髪、笑ったまま硬直したように釣り上がった口。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7531x/>

---

僕と戯言の730日

2011年11月11日08時48分発行